

福岡県保健医療介護部  
 がん感染症疾病対策課感染症対策係  
 中山、古屋  
 内線 3065  
 直通 092-643-3597

## 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の患者発生について

南筑後保健福祉環境事務所管内で、感染症法上4類感染症に分類される重症熱性血小板減少症候群（以下、「SFTS」という。）が疑われる患者が発生し、福岡県保健環境研究所で検体を検査したところ、令和6年4月19日、感染が確認されました。

### 1 患者の概要

- (1) 年代・性別等 : 60歳代、女性（みやま市在住）
- (2) 症状 : 発熱、嘔吐、下痢、筋肉痛、倦怠感等
- (3) その他：マダニによる刺し口確認あり

### 2 経過

- 4月15日 発熱  
 4月17日 嘔吐、下痢、筋肉痛、倦怠感が出現  
 4月18日 症状が改善しなかったため、A医療機関を受診し、入院  
 A医療機関から南筑後保健福祉環境事務所にSFTSを疑う患者を診察した旨の連絡  
 4月19日 県保健環境研究所にて遺伝子検査を実施し陽性確認  
 4月22日 本人は入院継続中、症状回復傾向

### 3 対応

南筑後保健福祉環境事務所が患者に対し健康調査、疫学調査を実施。

### 4 発生状況

（令和6年4月22日現在）

年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
報告数	0	0	7	3	1	1
年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
報告数	6	2	1	5	2	1*

※本件を含む

### お 願 い

※ 報道機関各位におかれましては、患者及び患者家族等について、本人等が特定されることがないように、格段の御配慮をお願いします。

### ◆県民の皆様へ◆

- ・ マダニに咬まれないようにすることが重要です。
- ・ マダニは、主に森林や草地等の屋外に生息し、全国的に分布しています。  
家庭内に生息するダニとは種類が異なります。
- ・ 草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大事です。
- ・ マダニ類の多くは人や動物に取り付くと、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、長時間（数日から長いもので10日間）吸血します。
- ・ 吸血中のマダニを見つけた場合は、医療機関（皮膚科）で処置しましょう。
- ・ マダニに咬まれた後に、発熱等の症状があった場合は、医療機関を受診しましょう。

山や草むらで活動するときは、

# マダニに注意しましょう

春から秋にかけての季節は、キャンプ、ハイキング、農作業など、

山や草むらで活動する機会が多くなりますが、マダニの活動も活発になります。

野山に生息するマダニに咬まれると、

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、ライム病

などの感染症にかかることがあります。

## 予防のポイント

下の4つのことを参考にして、ダニに咬まれないようにしましょう。

(これらの予防方法はツツガムシに咬まれて感染するつつが虫病の予防にも有効です。)

### 1. マダニの生息場所



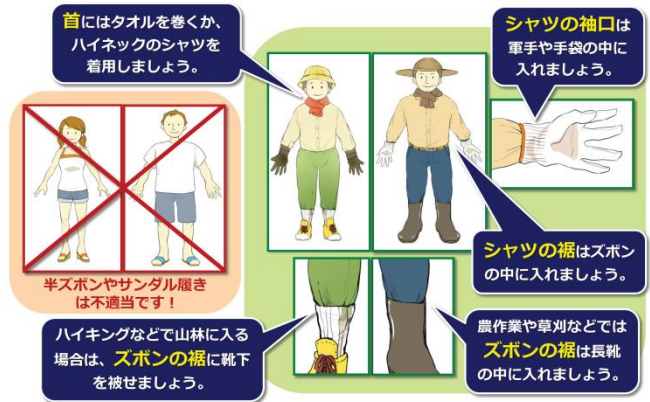
マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。



マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。

### 2. マダニから身を守る服装

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！



首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてください。



半スポンやサンダル履きは不適当です！

シャツの裾はスポンの中に入れてください。

ハイキングなどで山林に入る場合は、スポンの裾に靴下を被せましょう。

農作業や草刈などではスポンの裾は長靴の中に入れてください。

### 3. マダニから身を守る方法



上着や作業着は、家の中に持ち込まないようにしましょう。



屋外活動後は、シャワーや入浴で、ダニが付いていないかチェックしましょう。



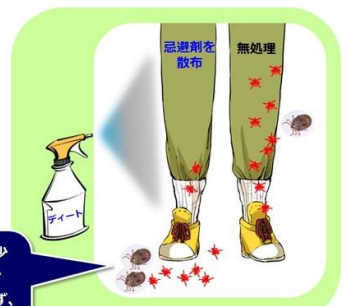
ガムテープを使って服に付いたダニを取り除く方法も効果的です。

ダニ類の多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

### 4. 忌避剤の効果

マダニに対する忌避剤（虫よけ剤）が、2013年から新たに認可されました。現在は、ディート、イカリジンの2種類の有効成分の忌避剤が市販されています。



忌避剤の使用でマダニの付着数は減少しますが、マダニの付着を完全に防ぐわけではありません。忌避剤を過信せず、様々な防護手段と組み合わせる対策を取ってください。

出典 国立感染症研究所昆虫医科学部

詳細な情報は県ホームページをご覧ください。